



北海道支部ニュース第30号

日本分析化学会 北海道支部 2004 年 12 月

2004年度北海道分析化学各賞の受賞者決まる

支部会員より推薦のありました2004年度北海道分析化学各賞の候補者について、推薦書、履歴書、業績等に基づき慎重に検討した結果、2004年度の各賞受賞者を以下のように決定しましたのでお知らせいたします。なお、授賞式ならびに受賞講演は、2005年冬季研究発表会の会場で2月2日(水)に行われます。会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

北海道分析化学奨励賞

齋藤 伸吾（北見工業大学工学部化学システム工学科）

「解離不活性金属キレートを用いる高性能分離分析法の開発とその速度論的特性の解明」

北海道分析化学功労賞

（故）嘉屋 恵一郎（元㈱日立ハイテクノロジーズ）

「支部活動に対する貢献」

北海道分析化学賞

該当者なし

平成 16 年度事業案内

第40回氷雪セミナーのお知らせ

主催 日本分析化学会北海道支部

期日 2005年1月8日(土)・9日(日)

会場 溪流荘(札幌市職員共済組合定山溪保養所) 札幌市南区定山溪温泉西2-5

電話: 011-598-2721

交通: JR札幌駅前バスターミナルからじょうてつバス「定山溪温泉」行き乗車、
「定山溪大橋」下車、徒歩4分

プログラム

第一日(1月8日、13:30~17:00)

1. 「未来のエネルギー資源 –メタンハイドレート–」

産業技術総合研究所 成田 英夫

2. 「札幌の地下構造と地震・流体資源(地下水・温泉・石油・天然ガス)問題」

道立地質研究所 岡 孝雄

懇親会 18:00~

第二日(1月9日、9:00~12:00)

3. 「タンチョウの現状と保護」

阿寒国際ツルセンター 富山 奈美

4. 「北海道沿岸海域の環境質について」

北海道環境科学研究センター 福山 龍次

参加費 会員11,000円、非会員12,000円(宿泊費・懇親会費含む、当日受付にて支払)

参加申込締切 平成15年12月12日(日)

申込方法 氏名、勤務先・所属、連絡先(所在地、郵便番号、電話・FAX、E-mail)を明記の上、郵便・FAX又はE-mailにて、下記宛にお申し込み下さい。

申込先 〒060-0819 札幌市北区北19条西12丁目

北海道環境科学研究センター 環境保全部 加藤 拓紀

電話: 011-747-3557、FAX: 011-747-3254

E-mail: kato@hokkaido-ies.go.jp

2005年冬季研究発表会のお知らせ

共 催 日本分析化学会，日本化学会，日本エネルギー学会各北海道支部，触媒学会北海道地区

期 日 2月1日（火），2日（水）

会 場 北海道大学学術交流会館

発表申込締切 11月5日（金）（必着）

予稿原稿締切 12月10日（金）（必着）

参加登録予約申込締切 12月17日（金）

発表形式 口頭発表（質疑応答を含め15分を予定）はOHPのみ。

ポスター発表の詳細は申込者に後日連絡する。

発表申込方法 1件ごとに以下の内容を明記のうえ，E-mail，郵送，あるいはFAXでお申し込み下さい。(1)講演題目，(2)発表者（ふりがな，講演者に○印），(3)所属，(4)申込者氏名，連絡先（住所，電話，FAX，E-mail），(5)口頭発表，ポスター発表の希望（口頭発表申込多数の場合は一部ポスター発表とさせていただきます場合もあります。同一研究室から複数の口頭発表の申込をする場合は優先順位を記入），(6)講演概要（100字程度）。

参加登録費（含講演要旨集） 会 員：一般2,000円，学生1,000円

会員外：一般3,000円，学生1,200円

懇親会 2月1日（火）18時より北海道大学百年記念会館にて開催

予約受付（12月17日までに払込分）：一般5,000円，学生2,000円

当日受付：一般6,000円，学生3,000円

参加登録・懇親会予約方法 (1)氏名，(2)所属，(3)連絡先，(4)懇親会出席の有無を明記してお申し込み下さい。参加登録費，懇親会費は郵便振替（口座番号：02770-9-94094，口座名：2005年冬季研究発表会）または書留にて送金下さい。

申込先 060-8638 札幌市北区北15条西7丁目 北海道大学大学院医学研究科環境医学内 北海道支部2005年冬季研究発表会実行委員会 斎藤 健

電話：011-706-5065，FAX：011-706-7819，

E-mail：saitotak@med.hokudai.ac.jp

同時期開催：日本エネルギー学会、電気化学関連三学協会、高分子学会

合同懇親会：冬季研究発表会、日本エネルギー学会、電気化学関連三学協会

これまでの終了行事報告

第 20 回 分析化学緑陰セミナーを終えて

北見工業大学化学システム工学科 齋藤 伸吾

本年度も、分析化学会北海道支部の恒例行事である分析化学緑陰セミナーが開催されました。第 20 回を迎えた本年度は、まさに「緑陰」(青葉の茂ったかげ、こかげ・広辞苑から)の名に相応しい、緑に囲まれた大雪山の麓にある国立大雪青年自然の家(ゆーすぴあ大雪)において6月19日(土)、20日(日)に開催され、総勢67名の方に参加していただきました。

本行事は、セミナー規約にもあるように、「日本分析化学会北海道支部の活性化と分析化学および関連分野に携わる学生、若手研究者、企業の方などと交流、親睦を深めるとともに、分析化学の発展と若手研究者を育成することを目的とする」行事であります。今回は道内外から4人の分野の全く異なる先生にご講演をお願いすると共に、参加した学生からも4名の研究発表をして頂きました。第一日目には、藤吉亮子先生(北大工学研究科)から「地表面下の環境変遷を放射性核種の深度分布から探る試み」との演題で、初学者にもわかりやすく、放射性核種由来から始まり、その深度分布から環境に関するどのような因子がわかり、応用できるかを最新のデータを交えて解説していただきました。宇都正幸先生(北見工大機能材料工学科)には、「大学って何? - 大学の営業マンとしての8年」と題しまして、地域共同研究センターでご活躍されていた時の経験から、産学官連携の話を、大学と社会の関わり様の一つとして紹介していただきました。第二日目には、芳村一先生(株式会社シノテスト)に「臨床検査への分析技術の応用」という演題で、臨床検査薬の製品化とその基礎となる化学について、企業の方ならではの大学では中々聞けない話をして頂きました。また、最後の講演として、吉本敬太郎先生(理化学研究所)に「核酸の脱塩基部位形成を利用する一塩基変異蛍光診断法」と題して、近年のイオン認識において注目のトピックスの一つである水素結合型試薬の中でも特に、DNA内部の核酸塩基認識試薬の開発について詳細に講演していただきました。先生方の講演は、緑陰セミナー後の評判も上々で、様々な分野から分かりやすく興味深い話をお聞かせいただき、学生にとっても大いに啓発された講演だったのではないかと考えております。また、4名の学生講演では、参加学生の中から座長を務めて頂き、学生からの質問も多く聞かれました。恒例の懇親会では各研究室、教員と学生の垣根を越え、アルコールなどを触媒に盛んに交流が行われ、緑陰セミナーの目的を十二分に果たしたと考えております。

以上のように成功裡に終わりました第20回緑陰セミナーですが、後日、参加者の一部にアンケートさせていただいたところ、概ね好評でしたが改善点も浮かび上がってきました。良かった点としましては、会場が国立青年の家ということで、朝のラジオ体操など、生活上の約束事が多かったが、学生は講演に集

中でき、良い方向に働いていたことや、会がアットホームであったこと、先生方が若い学生をエンカレッジさせるよう気を配っていたこと、若い研究者や大学の先生方および企業の方と知り合えたこと、さらに講師陣のバランスが取れていたことなどの評価をいただきました。一方、改善点としては、若い学生（特に学部4年と修士）から質問が少ないこと、発表者と聞き手との距離が中途半端で、学校の講義のように感じたなど、学生の意識と講演のあり方が問われていると感じました。教員がどの様に学生のモチベーションをあげていくか等、今後へ向けての課題も残ったように思います。

最後に、今回お忙しい中にもかかわらず、快く講演を引き受けてくださった4人の先生方、また、会の運営にとっても協力的であった参加者の皆様に心から御礼申し上げます。また、本セミナーの開催にあたりご協力いただきました関係各位、差入れを頂きました先生方に感謝いたします。そして、本セミナーの開催についてご理解いただき、財政的なご支援を賜りました分析化学会北海道支部に御礼申し上げます。



その他終了事業報告

2004 年夏季研究発表会事業報告

日時：平成16 年7 月24 日（土）

共催：日本分析化学会・高分子学会・日本エネルギー学会・石油学会各北海道支部，日本セラミックス協会・有機合成化学協会各東北・北海道支部，触媒学会北海道地区

参加者：198名

会 場 苫小牧工業高等専門学校（苫小牧市字錦岡443 番地）

発表件数 一般講演 106 件

特別講演

「紙パルプ産業の化学的側面」

日本製紙株式会社勇払工場 技術環境室長 種田英孝

「有機ホウ素化合物を用いる有機合成」

北海道大学 名誉教授 鈴木 章

2004 年度北海道地区化学教育研究協議会報告

日 時：平成16 年10 月2 日（土） 10：00～17：00

会 場：北海道大学大学院地球環境科学研究科 C-104 講義室

札幌市北区北10 条西5 丁目

参加者：40 名

講演

「化学教育における中等教育と高等教育のギャップ」

東京大学大学院総合文化研究科 下井 守 先生

情報提供

「高校化学グランプリ報告」

札幌北高校 三浦 瞬 君

話題提供

「中学校理科化学領域における課題とその解決のための試み」

札幌市立幌東中学校 高橋 伸充 先生

「課題研究の実践を通して見えてきたこと」

札幌啓成高等学校 三浦 治彦 先生

「身近なところに"化学"がある」

苫小牧高専 笹村 泰昭 先生

「大学における基礎化学：実験的授業を振り返って」

北海道大学理学研究科 鈴木 孝紀 先生

自由討論

「討論を通して、理科(化学)教育における小・中・高・高専・大学の連携について考える」

支部会員の欄

この欄では、分析化学会の北海道支部の転出や転入・新入会など、会員に関する情報をお伝えします。新たに以下の方々の入会が認められました（ぶんせき2004年8月～12月号から）。これらに関する情報をお持ちの方は、支部ニュース編集委員までお知らせください。

恵 淑萍	北海道医療大学
磯崎 雄一	北見工業大学大学院工学研究科
植村潤一郎	北見工業大学工学部
菊地 暢人	北海道大学大学院工学研究科
佐々木 真	北海道大学大学院地球環境科学研究科
田上 清香	北見工業大学工学部
田村 純一	北見工業大学大学院工学研究科
橋立 毅	北海道大学大学院水産学研究科
中東 淳	（財）日本食品分析センター千歳研究所
水田 圭一	北海道大学大学院水産学研究科
山崎 由佳	北海道大学大学院地球環境科学研究科
山田 桃子	北海道大学大学院理学研究科

編集後記

会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。北海道支部ニュース30号をお届けします。2004年は、イラクへの自衛隊派遣問題、威力のある台風の襲来や新潟での地震などの自然災害やイラクでの日本人殺害等、ニュースに事欠かない一年でした。北海道も年始早々に北見の大雪、9月に札幌の台風で甚大な被害を受けました。北海道大学の観光名所？の1つである、ポプラ並木も無惨な姿に変わってしまいました。

色々なことがあった2004年はもう少しで終わりますが、皆様、風邪などに気を付けて良いお年をお迎え下さい。

来年度は、支部ニュース編集委員、坂入正敏（北大院工）と阿部正明（北大院理）が新委員と交代になります。新委員は、田原るり子（北海道環境科学研究センター）と照井教文（北大院地球環境）です。

今後も北海道支部ニュース編集委員へのご支援を宜しくお願い申し上げます。また、北海道支部のホームページには最新情報、支部ニュースのバックナンバーが掲載されていますので、ご活用下さい。

（編集委員：坂入正敏、阿部正明、石坂昌司、西村一彦）



北海道大学大学院工学研究科 山田雅史氏 撮影